

「人と健康にやさしい町にするために」

指導目標	◎ 1 年間のたかから学習を振り返り、高倉の町をよりやさしい町にするために、自分にできることを考える。
公共交通を教材とする利点	まちの学習の中で、自分たちのまちが歩くためにやさしいまちかどうかを考えることで、自分たちの取組が社会とつながり、まちづくりにつながることに気づくことができる。
対象学年	4 年生
対応教科	総合的な学習の時間
標準校時	1 コマ
学習構成	<p>まちあるき（事前授業）</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に学区内を歩き、道路で子どもやお年寄りに心配な場所はないか、福祉面からもルートチェックを行い、地図に書き込む。 <p>1. 高倉の町が「やさしい町」かどうかを考える</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高倉の町が人や健康にやさしい町かどうかを考える。 <p>2. どうすれば高倉の町がよりやさしい町になるかを考える</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高倉の町がやさしくない」とした理由と繋げながら、よくない部分を直せばやさしい町になることに気づく。 <p>3. 自分にできることを考える</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が今すぐに始められることを考えることで、実践への意欲をつなげる。 <p>4. 自分たちの学習が「まちづくり」へとつながる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな取組であっても、それが広がれば町全体が変わっていくことに気づく。

【学習指導案】

たかくら学習指導案

指導者 高倉小学校 谷井 勇介

◆本時のねらい

1年間のたかくら学習をふり返り、高倉の町をよりやさしい町にするために、自分にできることを考える。

◆本時の展開

学習内容・活動	教師の活動・支援	評価規準(方法)
1. 4年のたかくら学習をふり返る。 ・お年寄りや幼い子と交流したよね。 ・ゲストティーチャーに色々なことを教えてもらった。 ・車いすやアイマスクの体験もしたよ。 ・お年寄りのためのウォーキングルートを考えて。	・大型モニターで写真を提示し、どんな活動をしてきたか想起できるようにする。	
よりよい高倉の町にするために、自分にできることを考えよう。		
2. 高倉の町が「やさしい町」かどうかを考える。 ・点字ブロックがあるからやさしい。 ・せまい道にたくさんの車が通っているから、あまりやさしくないな。	・マグネットシートを使い、自分の立場をはっきりさせた上で話し合いを進めるようにする。	
3. どうすれば高倉の町がよりやさしい町になるかを考える。 ・もっと道が広いと安全だ。 ・車が多くて危険だから、車が入ってこられないようにすればいいんじゃない。 ・もっと点字ブロックをつければいい。	・内容ごとに整理して板書する。 ・「高倉の町がやさしくない」とした理由と繋げることで、よくない部分を直せばやさしい町になることに気づけるようにする。	
4. 自分にできることを考える。 ・自転車道を置かないようにしよう。 ・白杖を持った人を見かけたら声をかけてみよう。 ・学習したことを家族に教えてあげよう。	○「自分が今すぐに始められること」を考えさせることで、実践へ意欲が広がるようにする。 ・小さな取組であっても、それが広がっていけば町全体が変わっていくことに気付けるようにする。	☆学習してきたことをもとに、高倉の町をよりよくするために、自分にできることを考え、実践しようとしている。 (発言・行動)
5. 自分たちの学習が「町づくり」へと繋がっていることを知る。 ・調べたことが地図にのってる。 ・もっと人がっていったらうれしいな。	・拡大した「京まちなか安心マップ」を提示し、4年生が校区探検で見つけた情報が地図に掲載されていることを伝える。	
6. 1年間のたかくら学習をふり返る。		

【板書写真】

